

だれでもできる！フラッグフットボールの簡単審判の方法(入門ルール)



入門ルールをもとにした、だれでもできるフラッグフットボールの簡単な審判方法を紹介します。
(入門ルールを合わせて読むと分かりやすくなります。)

1 ゲームを始める前に行うこと

- 上着がズボンに入っているか確認しましょう。
- ベルトの余りが垂れて危ないか確認しましょう。
- 試合時間及び先攻後攻をじゃんけんなどで決めましょう。
 - ▶ 試合時間の目安は、前半 10 分後半 10 分です。

作戦カードなどの取扱い

後ろのポケットや背中に入れておくか、フィールドの後ろに置くように指導しましょう。

2 プレーを開始する時に行うこと

- スタートする位置（サイドライン間の中央）にボールを置きましょう。
- 両チームの選手が同じ人数となっているか確認しましょう。
- フラッグが両横にきちんと付いているか確認しましょう。
- 何回目の攻撃であるか、声を出して確認し、プレーを開始させましょう。例：『赤チームの2回目の攻撃』



3 プレーを止める時

- ボールを持っている選手がフラッグを取られた場合、サイドラインを踏んだ場合、ボールを落とした場合
 - ▶ その地点まで前進が認められますので、必ずその位置の確認を行いましょう。
- パスが失敗した場合、前パスを7秒以内に投げられなかった場合
 - ▶ 次の攻撃はプレー開始地点に戻って開始させましょう。
- 反則があった時
 - ▶ 攻撃側の選手がボールを置いた位置から前でパスをしたり、守備の選手にぶつかったり、手を使って邪魔をした場合は反則とし、攻撃回数を減らしたうえで、同じ位置から攻撃をやり直させましょう。
 - ▶ 守備側が攻撃の選手にぶつかったり、手を使って邪魔をしたりした場合は反則とし、反則とした時に進んでいたボールの位置から、攻撃回数を減らさずに、次の攻撃を開始させましょう。

4 プレーが止まった後に行うこと

- 攻撃側の作戦時間をカウントしましょう。(作戦時間は30秒間)
- 4回の攻撃が終了した時やタッチダウンとなった場合、攻守を交代させましょう。
- 前半が終了したらコートチェンジを行いましょう。

プレー開始後の試合時間の終了

攻撃が始まってから試合時間が終了した場合は、その攻撃が終わってから試合終了とします。

5 その他

- 取ったフラッグは必ず手渡しで返すように指導しましょう。